HP用ころぽっくるの家 療育支援プログラム2025.xlsx

NPO法人アジール舎　作成日　2025年3月14日

多機能型事業所　**ころぽっくるの家**（**子ども発達療育スペース・所長**）

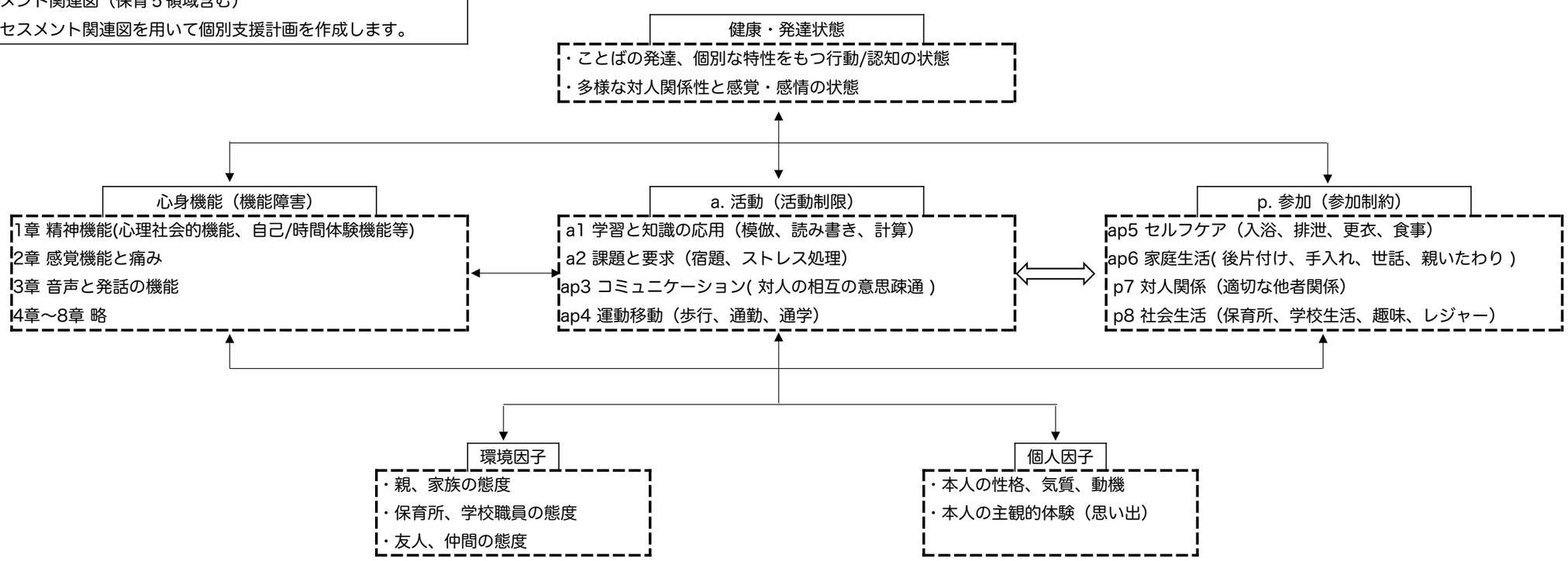
事業所名	れら訪問療育（保育所等訪問支援・児発管1人・単独型）	
	ころぽっくる幼児期親子療育（児童発達支援・児発管1人・単独型）	はらっぱ学齢期子親療育（放課後等デイサービス・児発管1人・単独型）
利用年齢	«誕生»　→　〔2歳前後から6歳まで〕　→	«小学校入学»　→　〔満6歳から18歳まで〕　→　«成人»
事業所理念	家族とともに発達に特別なニーズをもつ子どもの内的世界と日常生活を豊かにする。	発達に特別なニーズをもつ学齢期の子どもの自立／自律生活と社会参加を促進する。
療育方針	子ども期の遊びを通して、対人関係における基本的安定感を形成する。	学齢期の子どもの自発性を最大限尊重し、助け合い、学び合い、競い合いを育む。
定員/時間	1日定員10人／午前9時30分から午前12時30分まで	1日定員10人／午後2時30分から午後5時30分まで
送迎体制	保護者送迎（保護者は療育メニューの親子タイムに参加）	療育終了時の保護者迎えを原則とする。ただし、利用児童が送迎を希望する場合、事業所と保護者で相談する。

療育支援の内容　＝

本人支援	遊戯療法と心理社会的援助で構成される療育メニューによって、本人の発達特性に応じた臨床的アプローチを週一回行う。
移行支援	週一回の通所療育支援と保育所等訪問支援の並行支援を行い、地域社会におけるインクルーシブ保育・教育を推進する。
職員の質の確保	児童・保育教育、発達心理に関する有資格者の療育支援員が日常的にチームカンファレンスを行い、専門性を高める。

＋

家族支援	共同療育者である保護者への相談助言を行い、家庭環境を整える。
地域連携・支援	宇治市の保育・教育関係機関と連携し、地域支援を行う。

ICFアセスメント関連図（保育５領域含む）

※　ICFアセスメント関連図を用いて個別支援計画を作成します。